

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134041110	教育実習指導	小野憲一・平岩暁子・片岡優介			1	選択	4前期

科目の概要

本科目は「教育実習A」または「教育実習B」の事前指導および事後指導として位置づけられる。事前指導では、教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。本科目は教育実習を実施することによって醸成されることを期待している。本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を鍛え上げ、教員として必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができること（DP1・2・3・4・5・6）を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 教育実習生として遵守すべき義務や責任等について学ぶ。 ② 実習校を学ぶ。 ③ 観察・参加・記録の方法を学ぶ。 ④ 学習指導案作成や教材研究に基づき、実技・模擬授業などを行う。 ⑤ 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。	① 教育実習生として遵守すべき義務や責任等を説明することができる。 ② 実習校の歴史・教育目標・特徴的な教育活動などを自ら調べてまとめ、説明することができる。 ③ 観察・参加・記録の方法を理解し、日誌を正しく書くことができる。 ④ 学習指導案作成や教材研究に基づき、実技・模擬授業などを行うことができる。 ⑤ 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組んでいる。
	働きかけ力	他人に働きかけ、巻き込んでいる。
	実行力	目的を設定し、確実に行動している。
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備している。
	創造力	新しい価値を生み出している。
チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝えている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴いている。
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解している。
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。
	規律性	社会のルールや人との約束を守っている。
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応している。

テキスト及び参考文献

テキスト：「教育実習の手引」（愛知学泉大学） ※販売はありません。初回授業で配布します。
 参考文献：各担当教員から紹介される。

他科目との関連、資格との関連

「教育実習指導」は教職に関する科目であり、「教育実習A」または「教育実習B」の事前・事後指導として位置づけられている。その後に履修する「教職実践演習」の基盤となる科目である。
 中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
教育実習の概要を理解し、実習への心構えを堅固なものにする。発表や模擬授業にあたっては入念な準備を行い、発表後には改善点を自分なりに考える。事前に家庭科教育法で学習した内容を復習し、家庭科の教科書の内容も再確認してくる。学習指導要領や教科書を読み直しておく。授業後は、気づいた点をあげて次の授業に採り入れるようにする。	授業の日程は学年歴には従わず、教育実習の開始日に合わせて前倒しで授業を実施します。授業日は教員と受講者全員の時間割や都合を調整して決めます。2週目の授業以降はシラバスに記載の授業計画の順とは異なることがあります。事前指導は原則として1回の欠席も認めません。実習校での事前指導の予定は事前に申し出て授業日の調整に協力してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			各教員から課された課題の発表・実技・模擬授業および事後の実習報告の内容を総合して評価する。 獲得（33％）：教育実習のために何を準備すればいいか理解している。 活用（33％）：各教員から課された課題の発表・実技・模擬授業等のパフォーマンス 解決（34％）：教育実習前に設定した研究テーマ（観察の視点）に対する調査の結果および考察を述べる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			以下の観点それぞれに対して、15 週を通して観察し、評価する。 ・主体性 物事に進んで取り組んでいる。 ・働きかけ力 他人に働きかけ、巻き込んでいる。 ・実行力 目的を設定し、確実に行動している。 ・課題発見力 現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。 ・計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備している。 ・創造力 新しい価値を生み出している。 ・発信力 自分の意見をわかりやすく伝えている。 ・傾聴力 相手の意見を丁寧に聴いている。 ・柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解している。 ・状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。 ・規律性 社会のルールや人との約束を守っている。 ・ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応している。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において9割以上の得点率 A評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において8割以上の得点率	B評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において7割以上の得点率 C評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション (小野・片岡・平岩) 授業の目的, 進め方を説明します。 教育実習の日程に合わせて授業のスケジュールリングを行います。	講義	授業の目的・進め方を理解する。	(予習) シラバスを読んでおく。 (復習) 教育実習までに準備することをリストアップする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	教育実習の意義や概要について学修する。 (小野・片岡) Classroomの活用法を確認する。(連絡・情報共有等)	講義 演習	教育実習の意義や概要について理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	教育実習の心構えについて学修する。(小野・片岡)	講義 演習 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	教育実習の心構えについて理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	教育実習の前後にすべきことについて学修する。(小野・片岡)	講義 グループワークでフィードバック 演習 Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	教育実習の前後にすべきことについて理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	教育実習生として遵守すべき義務や責任等について学ぶ。(小野・片岡) 「教育実習の手引」の内容を理解する。 挨拶の練習・板書・マナーなど	講義 演習 授業資料はScrapboxを使用します。	「教育実習の手引」の内容を理解して, 教育実習の意義・目的・注意事項を説明することができる。	(予習) 「教育実習の手引」を読み, ポイントをまとめる。 (復習) 自己の不足について, 練習して改善する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	実習校を学ぶ。(小野・片岡) 教育実習で探究する課題(特に観察の視点)を明確にする。	講義 演習 授業資料はScrapboxを使用します。	実習校の概要および自己の実習における目的・探究課題を述べることができる。	(予習) 実習校の概要を調べてプレゼンテーション資料を作成する。実習の目的を設定する。 (復習) 自己の不足について, 調べ直したり, 考え直したりして改善する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	教育実習記録(日誌)の書き方・使い方を理解する。(小野・片岡)	講義 演習 授業資料はScrapboxを使用します。	教育実習記録(日誌)の書き方・使い方を説明することができる。	(予習) 日誌の書き方のポイント, 見本に目を通す。 (復習) 不明な点がないかを確認する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	被服分野の指導法(平岩) 被服分野の内容を復習し, 指導する立場から, 重要な点をまとめる。	演習とグループディスカッション Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	被服分野のポイントについて, 教える立場から考えることができる。	(予習) 家庭科教育法で学んだ内容の復習 (復習) プリント記入による復習	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	被服実習の指導法（平岩） 被服分野の実習授業に備えて、教材を作成して、ポイントを確認する。	演習とグループディスカッション Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	教える立場から、わかりやすい被服の教材を完成できる。	（予習）学習内容の確認 （復習）実習授業のポイントのまとめ、模擬授業の準備	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	模擬授業と内容の検討（平岩） 被服分野の模擬授業を行い、全体で教授法や内容を検討する。	模擬授業でフィードバック 内容に対するディスカッション Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	模擬授業の内容について、問題点をまとめることができる。	（予習）模擬授業の準備 （復習）授業のポイントの復習	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	事後指導（1）（小野・片岡・平岩） 教育実習の報告を行う。 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。 ※事後指導は教育実習終了後の早いうちに前倒しで実施する。	発表 ディスカッション	教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。	（予習）プレゼンテーション資料を作成する。 （復習）発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	事後指導（2）（小野・片岡・平岩） 教育実習の報告を行う。 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。 ※事後指導は教育実習終了後の早いうちに前倒しで実施する。	発表 ディスカッション	教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。	（予習）プレゼンテーション資料を作成する。 （復習）発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	事後指導（3）（小野・平岩・山田） 教育実習の報告を行う。 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。 ※事後指導は教育実習終了後の早いうちに前倒しで実施する。	発表 ディスカッション	教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。	（予習）プレゼンテーション資料を作成する。 （復習）発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	事後指導（4）（小野・片岡・平岩） 教育実習の報告を行う。 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。 ※事後指導は教育実習終了後の早いうちに前倒しで実施する。	発表 ディスカッション	教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。	（予習）プレゼンテーション資料を作成する。 （復習）発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	事後指導（5）（小野・片岡・平岩） 教育実習の報告を行う。 教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定する。 ※事後指導は教育実習終了後の早いうちに前倒しで実施する。	発表 ディスカッション	教育実習の経験を省察し、さらなる課題や目標を再設定して、自己課題の解決に向けて取り組むことができる。	（予習）プレゼンテーション資料を作成する。 （復習）発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力